KSKR

奈良県自閉症協会 NEWS

きずな

The Kizuna

No.195

2014 Oct. 10

http://www.eonet.ne.jp/~asn/

発行人：
関西障害者定期刊行物協会
編集人：奈良県自閉症協会
支部長＆事務局：河村舟二
〒639-1005
大和郡山市矢田山町 84-10
購読料１部　１００円
会員は会費に含まれています。

一九九六年五月一日発行第三種郵便物承認　毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行

成年後見制度改革

2006 年国連で採択された障害者権利条約では、発達障害者の法的能力行使の面において、「意志決定支援」を採択国に義務づけています。日本では 2011 年の改正障害者基本法 2012 年成立の障害者総合支援法にもこのことが盛り込まれています。今、自閉症をはじめ発達障害の人たちで、本人が自傷・自損の意思や実現不可能な意思を示す場合、これを本人の意思を尊重だからと鵜呑みすることでは、真の権利擁護ができないのではという課題があり、意思決定支援の具体的なあり方についての解決が望まれています。今回、このことについて、日本自閉症協会の常任理事で全国障害者生活支援研究会顧問の柴田洋弥氏から、「意思決定支援に基づく成年後見制度改革試論」示され、広くみなさまの意見を求められていますので、各自お考えいただき、今後の我が国の自閉症児者の支援構築につなげていただきますようお願いいたします。　（河村）

〇意思決定支援に基づく成年後見制度改革試論

国連障害者権利委員会意見書「第 12 条；法律の前における平等な承認」に沿って

2014.10.14　柴田洋弥

掲載ホームページ　http://homepage2.nifty.com/hiroya/seinenkoukensiron.html

(http://hiroya.info/　から入る事もできます)

【本稿の要旨】

障害者権利条約は 2006 年に国連で採択され、我が国では 2014 年 2 月 19 日に発効した。同条約第 12 条第 3 項は、知的障害・精神障害・認知症等の精神上の障害者への法的能力行使への支援として、「意思決定支援」を国に義務付けている。

その解釈を巡って、多くの国は「まず意思決定支援をつくして、それができない時には代行決定が認められる」と考えていたが、国際障害同盟は「代行決定は認められず、支援付き意思決定に徹するべきである」と主張していた。

一方、我が国の成年後見制度には「まず意思決定支援をつくす」という考え方に欠け、条約第 12 条第 4 項の条件（本人の変動する状況への適合、短期間の適用等）に反して一律に権利を制限しているため、日本成年後見法学会等において見直しが議論されていた。

ところが、2014 年 4 月 11 日に、国連障害者権利委員会は、一般的意見第 1 号「第 12 条；法律の前における平等な承認」を採択し、障害者への法的能力を制限する「代行者による意思決定制度」を廃止して、本人の意思と選好に基づく「支援付き意思決定制度」に移行するよう主張した。

この意見書は、我が国の成年後見制度改革に大きな課題を提起した。特に、「本人が自傷・自損の意思や実現不可能な意思を示すときに、その本人意思を尊重しては本人の権利擁護ができないのではないか」という疑問が生じている。

しかし、「意思決定支援」を「意思形成支援」と「意思実現支援」という 2 つの過程に分けて考え、本人が自ら新たな意思を形成するための「意思形成支援」を徹底することによって、この課題を解消し、意見書に沿って成年後見制度を改革することは可能であろう。本稿はその試論であり、その概要は次の通りである。

１）「意思決定支援」には「意思実現支援」と「意思形成支援」の 2 つの過程がある。「意思実現支援」は、本人の意思や選好に基づいてそれが実現するように支援することであり、弁護士等の任意代理もこれに該当する。本人が自傷・自損の意思や実現不可能な意思をもつときには、その意思をそのまま実現する支援ではなく、まず「意思形成支援」が必要となる。支援者は、①本人がそのような意思をもつに至った事情や背景と、その切実な衝動や思いの奥に隠された「本当の願い」を理解し、

受けとめ共感することによって本人との信頼関係を醸成し、②「本人にとっての最善の利益」に配慮した解決策をわかりやすく提案して本人と話し合い、③それを通して、実現可能な新しい「本人にとってよりよい意思」を本人が自ら形成するように支援する（この①～③を「意思形成支援」という）。次にこの新たな「意思」が実現されるように、「意思実現支援」を行う。

２）条約第 12 条第 2 項は、「障害者は他の者と平等に法的能力を享有する」と規定しているが、その「法的能力」には「行為能力」を含む。意見書は、「本人の行為能力を排除して他人が代行決定する」制度を批判している。

３）任意契約による弁護士の「代理決定」は本人意思の拡張であり、国民誰もが利用する「法的能力行使支援」つまり「意思決定支援」（意思実現支援）のひとつである。契約によらない「法定代理」を「意思決定支援」とするために、意見書は次の条件を求めている。①法定代理人は、本人の意思と選好に基づいて意思決定支援を行うこと。②本人が選んだ支援者を法定代理人に選任する規定を設け、また本人はいつでも支援を拒否し、支援関係を終了し、変更する権利を持つこと。③条約第 12 条第 4 項の条件を満たすこと。④法定代理人の行動に第三者が異議申し立てをできる仕組みを設けること。なお意見書は、法定代理人選任に「本人の同意」を求めていない。これは、「同意」の意思表示を明確にできない場合でも、裁判所が法定代理人を選任できるようにするためであろう。

４）我が国の成年後見人・保佐人・補助人の「取消権・同意権」は、本人の行為能力を制限する制度であるため、全て廃止すべきである。また、成年後見人の包括的な代理権・財産管理権も、同 12 条第 4 項の条件に違反するので廃止すべきである。これにより成年後見類型は全機能が無くなるので、当然廃止すべきである。残る保佐・補助の類型の代理決定機能を統合し、意見書が求める前項①～④の条件を満たす「法定代理」の制度に改革する。法定代理人が、上で述べたような「意思形成支援」に徹するならば、本人の法的能力を制限することなく、本人の意思と選好に基づく意思決定支援により、本人を擁護することは可能である。

（注；障害者権利条約第 12 条第 4 項の条件は次の通りである。①本人の権利・意思・選好の尊重、②利益相反の回避・不当な影響の排除、③本人の変動する状況への適合、④短期間の適用、⑤定期的審査。）

【ご意見を下さい】

日本自閉症協会常任理事・全国障害者生活支援研究会「サポート研」顧問　柴田洋弥メールアドレス hiroya.shibata@gmail.com

【緊急提言】

2014 年 8 月 26 日に法制審議会民法（債権関係）部会において決定された「民法（債権関係）の改正に関する要綱仮案」では「第 2　意思能力 法律行為の当事者が、その法律行為の時に意思能力を有しないときは、その法律行為は、無効とする。」と示されている。しかし、上記「意見書」は、「法的能力と意思決定能力は異なる。意思決定能力の不足が法的能力否定の正当化に利用されてはならない」としており、この民法改正仮案第 2 条項が条約第 12 条に違反している可能性がある。この点について早急な検討が必要と思われる。

なお、国連障害者権利委員会一般的意見第 1 号「第 12 条；法律の前における平等な承認」は次のホームページを参照されたい。

http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/rights/rightafter/crpd_gc1_2014_article12_0519.html

奈良県障害者計画見直し等にかかる意見交換会

2014 年 10 月 7 日奈良県文化会館２F 集会室で奈良県障害者計画見直し等にかかる意見交換会が実施され、奈良県障害福祉課と話し合いがもたれました。奈良県自閉症協会からは、河村、園部、上島、田中、湯淺、光野の 6 名が参加しました。以下は、奈良県自閉症協会からの意見内容です。（河村）

奈良県自閉症協会の意見

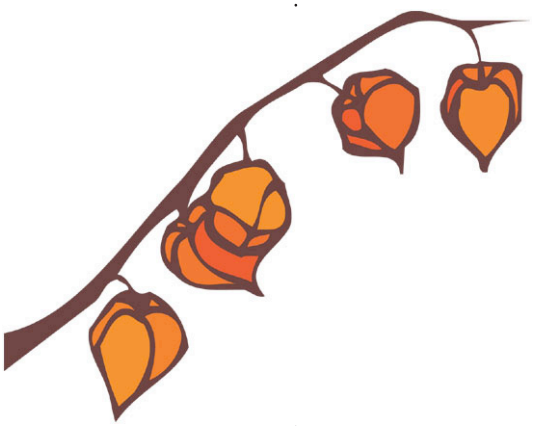
2014/10/6

・ライフステージに着目した主な施策　県立福祉施設の充実

〇奈良県の情緒障害児短期治療施設の創設は。近畿で奈良だけなぜ無いのか？

参 考 HPhttp://www.zenjotan.org/

link.html　全国の情緒障害短期治療施設）
奈良県にこの施設が必要性がかなり急務とされるのにいまだ持っていません。他の代替とされる施設（登美学園、精華学園等）は常に満杯であります。平成30年度に建て替えが行われる登美学園についても建物内の内容公開を求められると思います。（分野別施策の方向に基づいて）
・医療と福祉の連携強化○・知的障害と発達障害者への支援が抜けているのはなぜか？
・障害のある人の自らの選択・決定を尊重＝知的・発達障害者「意志決定支援」
・意思疎通・・・発達障害者の視点は含んでいるのか？
○奈良県の小中学校での特別支援教育の見直し
http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H16/H16HO167.html
発達障害支援法が施行されて来年で10年を迎える。改正も行われておりますが実情に沿った教育がされているにはほど遠く、また地方でばらつきがあります。その辺の報告や展望を県としてはどう考えておられるのか。
○保護者や広く支援に関わる方々への、自閉症の特性理解の為の施策（中でも人材育成は急務）
○相談機関の充実。問題解決力のためのスーパーバイザーの確保。本人・保護者の諦めが、既決事項とならないために。
○「でぃあー」県独自の人件費予算化の展望、ブランチ化。職員の専門性と機動力
○日中活動系（ディサービス）障害福祉サービス事業所は増加しているが発達障害の療育に関する視点が無い。人材養成。
・まほろば「あいサポート運動」における発達障害者支援の取り組みは。
・自閉症・発達障害者への災害時の支援計画は？自閉症児者の福祉避難所。東日本大震災を教訓として
○他県のような、発達障害にも対応できる24時間緊急相談精神医療施設の拡充（奈良県立医大にもあるかと思いますが、県内各圏域に必要）
○自閉症スペクトラムの早期発見早期療育の体制ができていない。
○自閉症をはじめ発達障害者の個々の力に見あった自立生活に有効な自立訓練の場の開拓（教育・医療学府と福祉行政、福祉団体、家庭の連係）
○学怜期の教育及び療育に、IT機器などの臨機応変な取り入れ。卒業後の就労の裾野の拡充。
○発達障害者の一般就労促進。ジョブコーチ、職場開拓、自閉症の啓発。
○意思疎通支援は手話など盲ろう者に限るものでなく発達障害者を加えるべき。また意思疎通だけでなく「意志決定支援」を。そのための人材養成
○奈良県で、生活していきたい。安心して生きていきやすい所とするためには、あらゆる立場の方々に、いかに障害を受け入れられることができるかがある。
窮屈な程の監視や、本人周囲の忍耐我慢、行動範囲を諦めで、問題を解決しようとすると、更なる深刻な問題を招く。少し目先をかえ、相手の側にたち気づきあえたら、地域の人を育てていく力は大きくなる。



NARA PREFECTURE
奈良県

平成 26 年度　障害者虐待防止・権利擁護研修　（共通講義・公開講座）

9:30　開会

9:40～9:55　行政説明　「障害者に関する条例」の制定に向けた取組について

10:00～12:00
講　演

「障害者権利条約」が目指すインクルーシブな社会

講師　立命館大学 衣笠総合研究機構
生存学研究センター　客員教授　**長瀬 修** 氏

【講師略歴】さまざまな国際関係機関での活動の後、東京大学大学院経済研究科特任教員を歴任。「障害学会」の初代事務局長を務める（2003～2007）ほか、「障害者権利条約」の日本語訳に携わる。現在は、静岡県立大学ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｽﾀﾃﾞｨｰｽﾞｾﾝﾀｰ客員研究員ほか、複数の国際的な障害者関係機関の委員等として活動されている。

13:00～13:30　行政説明　障害者虐待防止法の要点と
奈良県における障害者虐待の状況

13:40～15:10
講　演

「強度行動障害」のある人の理解に向けて

講師　鳥取大学大学院　医学系研究科
臨床心理学講座　教授　**井上 雅彦** 氏

【講師略歴】兵庫教育大学大学院臨床・健康学系准教授を経て現職。現在、鳥取大学医学系研究科附属臨床心理相談センターにおいて、発達障害を中心とした多くの相談を受けながら、自閉症に関する臨床と研究に取り組んできている。専門は応用行動分析学、臨床心理学。臨床心理士・専門行動療法士・自閉症スペクトラム支援士エキスパート・学校心理士。

15:25～16:15　シンポジウム　「強度行動障害」のある人に必要な支援を考える

シンポジスト　西田 利昭氏　独立行政法人国立病院機構 やまと精神医療センター 療育指導室 顧問
山村 義和氏　奈良県重症心身児（者）を守る会 副会長
春名 隆太氏　社会福祉法人いこま福祉会 かざぐるま 係長
助言者　井上 雅彦氏　鳥取大学大学院 医学系研究科 臨床心理学講座 教授

平成 26 年 11 月 4 日（火）
9:30～16:15(9:00 開場)

定員 500 名

会場
奈良県社会福祉総合センター 大ホール
奈良県橿原市大久保町 320-11
近鉄橿原線「畝傍御陵前」駅下車　徒歩 3 分
※公共の交通機関でお越しください

お申込み　申込用紙に必要事項をご記入のうえ、ＦＡＸまたは郵送にてお申し込みください。申込用紙はこのチラシとともに、各事業所様あてに送付しております。また、「奈良県障害福祉課」のホームページからもダウンロードができます。　**申込締切　10 月 27 日（月）**

奈良県健康福祉部障害福祉課 自立支援係（担当 原背（はらせ）、下谷（しもたに））　TEL.0742-27-8513(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)

FAX送付先　0742-22-1814 奈良県障害福祉課 自立支援係 宛

申込締切　10月27日（月）

平成26年度　奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修　受講申込書

下記のとおり、受講を申し込みます。
奈良県健康福祉部障害福祉課長　殿

申込日　　年　　月　　日

お申し込み内容（該当するものに☑印を記入）

※コース別研修のみでのお申し込みはできません。

☐ 11月4日（火）　共通研修（公開講座）のみ

☐ 11月4日（火）　共通講座（公開講座）と、11月12日（水）コース別研修（ア）市町村担当者コース
☐ 11月4日（火）　共通講座（公開講座）と、11月11日（火）コース別研修（イ）【施設等】虐待防止担当者コース
☐ 11月4日（火）　共通講座（公開講座）と、11月26日（水）コース別研修（ウ）【施設等】設置者・管理者コース

☐ 11月4日（火）　共通講座（公開講座）と、11月11日（火）コース別研修（イ）【施設等】虐待防止担当者コース
および11月26日（水）コース別研修（ウ）【施設等】設置者・管理者コース
※コース別研修（イ）の受講要件を満たす方（設置者、管理者、ｻｰﾋﾞｽ管理責任者）のみお申し込み可能です。

受講申込者　氏名	性別（どちらかに○印）	生年月日
（フリガナ）	男　　女	昭和 平成　　年　　月　　日生

ご所属

（法人名）　　（事業所名）

郵便番号　　ご住所

電話番号	FAX番号	E-mail

ご所属の事業種別（該当するものに☑印を記入）

☐障害福祉関係の事業所等（以下より申込者が現在従事している事業名を選択してください：複数回答可）
☐障害者支援施設　☐居宅介護　☐重度訪問介護　☐同行援護　☐行動援護　☐療養介護　☐生活介護
☐短期入所　☐重度障害者等包括支援　☐共同生活援助（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ）☐自立訓練　☐就労移行支援
☐就労継続支援A型　☐就労継続支援B型　☐相談支援事業（市町村委託あり）☐相談支援事業（市町村委託なし）
☐移動支援事業　☐地域活動支援センター　☐福祉ホーム ☐児童発達支援　☐医療型児童支援
☐放課後等デイサービス　☐保育所等訪問支援　☐障害児相談支援事業
☐その他（

☐行政機関（市町村）　☐行政機関（市町村以外）　☐教育関係　☐医療関係　☐法律関係

☐高齢者福祉関係の事業所等　☐その他（　　）

配慮事項（該当するものに☑印を記入）

☐ 車いす席の確保　☐ 手話通訳の手配　☐点字資料の手配

☐ その他（　　）

コース別研修BおよびCをお申し込みの方は、研修の運営の参考にしますので、以下の内容もご記入ください。

職務内容（該当するものに☑印を記入）		ご所属の事業所での虐待防止体制（複数回答可）
☐ 設置者	☐ 従事者（主として直接支援）	☐ 虐待防止に関する担当職員がいる
☐ 管理者	☐ 従事者（主として相談支援）	☐ 虐待防止委員会等、虐待防止に関する協議機関がある
☐ サービス管理責任者	☐ 従事者（事務業務等）	☐ 虐待防止に関する内部研修が行われている
☐ その他（　　）		☐ その他（　　）

※同一法人及び団体から2名以上お申し込みの場合は、申込者ごとに受講申込書を作成してください。

お申し込み後の通知等は行いませんので、以下の事項を必ず確認いただき、日時等をお間違えないようお越しください。

○受付開始は、開始時刻の30分前を予定しています。
○11月４日（火）実施の公開講座の会場は飲食禁止となっております。建物内のロビー等での飲食も禁止になっています。
○コース別研修の会場では昼食をおとりいただくことができます。
○受講者用の駐車場はありませんので、公共の交通機関等でお越しください。
○研修当日に連絡事項が生じた場合は、以下の電話番号にご連絡ください。会場への連絡はしないようにお願いします。
研修当日の連絡先　TEL. 0742-27-8513（奈良県障害福祉課　自立支援係）

FAXの混雑等により受信できない場合があります。
お手数ですが、FAX送信後にお電話にて送信したことをお伝え願います（電話　0742－27－8513）

NHKハートフォーラム

参加無料

発達障害の子どもへの理解と支援

8年目の特別支援教育

すべての学校において障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援する「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられてから、今年で8年目となりました。今、教育現場では発達障害（LD学習症・ＡＤＨＤ注意欠如多動症・自閉スペクトラム症など）のある子どもにどんな支援が行われているのか、教科別に指導の実例をみながら、障害のある子どもがその持てる力を伸ばし、充実した学校生活を送る方法を考えます。

♥午前の部 10時30分～

講演1

8年目の特別支援教育と教育的支援

講師　竹田契一
大阪教育大学名誉教授、
大阪医科大学LDセンター顧問

♥午後の部 1時15分～

講演2

学習につまずきがある児童・生徒の“見る力”を育てる

講師　奥村智人
大阪医科大学LDセンター・
オプトメトリスト

講演3

算数が苦手な児童・生徒は、どこでつまずくのか

講師　笘廣みさき
一般社団法人
発達支援ルームまなび 理事

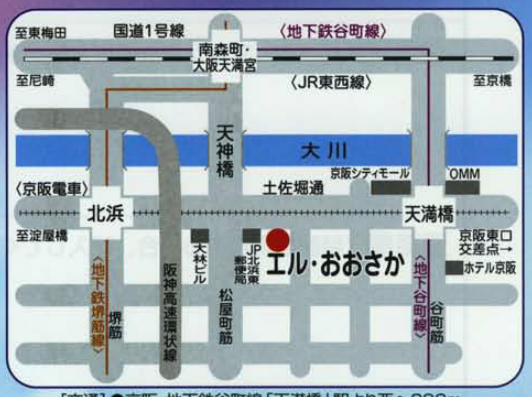
講演4

英語につまずく子どもたち ～特別支援教育の視点を取り入れた英語学習～

講師　三木さゆり
大阪市立長吉中学校 教諭

平成26年11月29日(土)
受付：午前10時　開演：午前10時30分
終了予定：午後3時30分

エル・おおさか（大阪府立労働センター）2階・エルシアター
大阪市中央区北浜東3-14　TEL. 06-6942-0001



［交通］●京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅より西へ300m
●京阪・地下鉄堺筋線「北浜」駅より東へ500m

参加申込　お申し込みは **はがき・FAX・Web** のいずれかでお申し込みください。
（中学生以下の方は入場できません）

はがき・FAX　住所・名前・電話番号・入場希望人数（最大5名まで）を書いてお申し込みください。
〈はがき〉〒540-8501　NHK厚生文化事業団近畿支局
（住所不要）「11月29日ハートフォーラム」係
〈FAX〉06-6941-0830

Web　NHK厚生文化事業団ホームページにある応募フォームからお申し込みください。
〈ホームページ〉http://www.npwo.or.jp/

※定員（800人）になり次第締め切ります。
※入場整理券は、11月上旬以降封筒に入れて郵送します。

お問い合せ／NHK厚生文化事業団近畿支局　電話06-6937-3412（平日:午前9時30分～午後6時）

主催：NHK厚生文化事業団近畿支局、NHK大阪放送局　　協力：大阪府共同募金会

11/29 ハートフォーラム 申込方法

Web、はがき、またはFAXでお申し込みください。

【Ｗｅｂ】ＮＨＫ厚生文化事業団のホームページ　http://www.npwo.or.jp/
にある応募フォームからお申し込みください。

【はがき】普通郵便はがきに参加を希望される方の、
①お名前　②郵便番号　③住所　④電話番号　⑤人数（最大5名まで）を書いて
〒540-8501（住所不要）**ＮＨＫ厚生文化事業団近畿支局**
「11月29日ハートフォーラム」係　までお申し込みください。

【ＦＡＸ】下の応募用紙に必要事項を記入の上、
06－6941－0830　まで送信してください。

※先着順に受け付けを行い、定員に達し次第締め切りとします。
※入場整理券は、11月上旬以降封筒に入れて郵送します。

ＦＡＸ申し込み書　ＦＡＸ 06－6941－0830

お名前（代表者）	人数（5人まで）
郵便番号 〒　　－	電話番号 （　　）　　－
住所（アパート・マンションの場合は必ず部屋番号を記入してください）	
連絡欄（特記事項がある場合、記入してください）	

■問合せ：NHK厚生文化事業団近畿支局　電話：06－6937－3412（平日・月～金:午前9時30分～午後6時）

ご応募いただいた個人情報は、結果に関する連絡のみに使用いたします。それ以外に使用することはございません。

皆さまの地域へ　キャラバン隊の巡回公演依頼募集

皆さまのもとへ

特定非営利活動法人
奈良県自閉症協会

みんな ちがって　みんな いい

～ 知ってほしいな　自閉症スペクトラムのこと

こんにちは。**奈良 HA-HA-HA キャラバン隊**です。私達は自閉症の子どもを育てる母親達です。外見からはなかなかわかりにくく誤解されやすい「自閉症」・「アスペルガー症候群」など「発達障がい」とよばれる人達の事を知って頂きたくてこの活動を始めました。

脳の働きにユニークさがある自閉症の人たちの事を「自分の立場」に置き換えて考え理解する事は、なかなか難しい事です。しかし、たくさんの疑似体験を交える事で、少しでも多くの人と自閉症の人達との距離を縮める事ができたらいいなと思います。「 困った人ではなく、困っている人だ 」という理解があれば、そのユニークさも個性として、「共に安心して生きていける社会」に繋がると私たちは信じています。

『 自閉症である事は特別な事ではありません。誰にでも得意なことと苦手なことがあるように、自閉症の人にも出来ることと出来ないことがあります。みんな一人一人違っていて当たり前なので

奈良HAHAHAキャラバン隊　講演依頼先
募集中！！！　日程や　内容、
費用等は　ご相談させていただきます。

保護者の団体、グループ
サービス事業所や施設様へ
幼稚園、学校など　何処へでも
ご依頼がありましたら
ご相談の上　お伺いします。

～ 公 演 内 容 ～

自 閉 症 って 何 ？
見 え 方　体 験
聞 こ え 方 体 験
コ イ ン い れ　体 験
嬉 し い 接 し 方
ひ び 割 れ 壺
ぼ く た ち の せ か い
母 の 気 持 ち
歌　etc…

問い合わせ先　　ＦＡＸ　０７４４－３３－４７５
asj_nara_oomiya@yahoo.co.jp

＊＊＊＊＊　奈良HAHAHA隊メンバーは＊＊＊＊＊
全て自閉症の子供を育てている母たちです。
不思議な　笑える自閉っ子たちから　元気をもらった母より
＊＊＊＊＊　　皆さまをきらきら星人の世界へご招待　＊＊＊＊＊

NPO 法人 奈良県自閉症協会 奈良 HA-HA-HA キャラバン隊

特定非営利活動法人　　奈良県自閉症協会　主催

サポートブック作成＆グループ相談会　派遣依頼募集

サポートブック

サポートブックは、障害のある人のための支援ツールとして、保護者が近くにいないときに最低限の安全を守れるように、初めて接する人とよりよい　コミュニケーションがとれるようにという保護者の願いのもとに、つくられ始めるようになりました。
必要な個所を必要なときに見て貰うことができるように、障害をもつ子どもの成長にあわせてバージョンアップを行い、保護者がより最新のものへと管理しながら障害をもつ子どもと一緒に楽しみながら作成いたします。その活用方法としては　本人活動の時のボランティアの方に、ショートステイ先の支援員やヘルパーさんに、また　幼稚園や学校の先生方に、さらに　水泳などの習い事のインストラクターや　おじいちゃん・おばあちゃんや親戚の方へと　様々な用途に使用できます。
本人と周りの方々とのコミュニケーションを促進し　本人が地域で楽しく過ごすために　その意義を理解して頂き、有効に活用できるよう、保護者さんだけでなく　支援者の方のグループも大歓迎です。

☆　**保護者グループや　支援者の団体様からの　ご依頼を頂けましたら**
奈良県自閉症協会ペアレントメンターと　奈良ＨＡＨＡHA キャラバン隊の母が
２～５名グループで　お伺いいたします。
支援や療育の悩みを　グループ相談形式で　お受けしながら
サポートブック研修と作成のお手伝いを　させていただきます。

問い合わせ先・申込先
e-mail　　asj_nara_oomiya@yahoo.co.jp

ふりがな						
グループ･団体名						
連絡先	TEL/FAX		mail（携帯可）			
	代表者名			男･女 （　　）歳	会員 ・ 非会員	保護者 ・ 支援者
研修場所	会場名			参加予定人数　　人		
	住　所					
希望日時	第1希望	月　日（　　）時間　：　～　：				
	第2希望	月　日（　　）時間　：　～　：				
	第3希望	月　日（　　）時間　：　～　：				
希望の返信方法	FAX　・メール					

☆ グループ人数は　何名からでも　OKです。（10名以下が　理想ですが　ご相談させて貰います）
☆ 申し込み頂きましたら　1週間以内にお返事致します。可能なら　メール方法が有難いです。

研修先会場　；　会場は　申し込みグループ団体様で　ご準備をお願いいたします。
ご用意が難しい場合は　当会ＳＫＩＰ教室を　無料でお貸しいたします。
研修費用　　１人　基本として　サポートブック資料代５００円のみ　お願いいたします。

自閉症理解と支援の為の勉強会

5回連続 基礎講座

奈良県自閉症協会は、自閉症や発達障害の人たちが豊かに暮らせる奈良を目指し活動を続けています。
保護者の方、幼児期からの支援者である保育士さん、幼稚園の先生から就学時の支援を担って下さる先生方、更には成人になってからの支援関係者の方々のご参加をお待ち致します。

第1回

第1回目 ・2回目は　皆様の ご好評を頂き　終了いたしました。！

「自閉症の人の未来のために！ 自閉症の特性と支援の原則」

講　師　中山　清司氏
（自閉症eサービス代表）

第1回目の講座をビデオ収録致しました。
複数人数が集まりましたら、ビデオでの勉強会も可能ですので
ご希望がありましたら　ご相談下さい。（申し込みアドレスへ）

第3回・4回
参加費　500円　（資料代）
定　員　**90名**　**会場　奈良商工会議所**　近鉄奈良駅1番出口から徒歩2分

順次開講　▶開催時間はいずれも13:40～15:50

第2回　10月　5日(日)
「評価と個別プログラム」
（山根和史氏　萩の杜）
奈良商工会議所地下AB会議室

第3回　11月29日(土)
「構造化」
（松尾浩久　特定非営利活動法人
HEROES理事長）
奈良商工会議所地下AB会議室

第4回　12月14日(日)
「コミュニケーション」
（岩井栄一郎氏　自閉症eサービス@京都）
奈良商工会議所地下AB会議室

第5回　1月10日(土)
「自立した生活」
（譲田和芳氏 bonワークス西宮
管理者/サービス管理責任者）
やまと郡山城ホール・レセプションホール

第3回目以降の講座の申し込みも継続して受付中です。
当日　申し込み無での参加もOKです。2回目会場は　出来るだけ公共機関をご利用の上　お越し頂けます様お願いいたします。

申し込み・問い合わせ先
asj_nara_oomiya@yahoo.co.jp
（可能な限りメールでお願いします）
0744-33-4755
（問い合わせの場合はメール又は留守電にメッセージを）

＊講師や会場の都合により、場合によっては時間・場所等を変更することがあります
＊参加費（資料代）1回につき500円です。当日会場にてお支払い下さい。

平成26年度　社会福祉法人　社会福祉事業研究開発基金助成　「発達障害児子育て支援スキルアップ事業」
主催　特定非営利活動法人　奈良県自閉症協会　HPアドレス　http://www.eonet.ne.jp/~asn/
後援　奈良県・奈良県教育委員会・奈良県発達障害支援センターでぃあ～(予定)　自閉症eサービス

自閉症支援者の為の勉強会・ワークショップのご案内

やってみよう！ 作ってみよう！

ペアレントクラス

時間　10:00～12:00
場所　やまと郡山城ホール　会議室

①9月25日(木) (9/25参加出来ない方SKIP教室)
自分の子どもについて知ってみよう！
プチサポートブックの作成　講師ペアレントメンター

②11月13日㈭
「自立課題作成①」
宮本敦子氏（自閉症eサービス）

③12月4日㈭
「自立課題作成②」
宮本敦子氏

④1月22日㈭
「IT機器を用いた簡単支援　ポイントはここ!」
中谷正恵氏(発達障害児の暮らしをサポートする童夢代表)

⑤2月5日又は12日㈭
わが子の再評価＆サポートブック作成
ペアレントメンター

定員10名(要申し込み)
参加費　5回　5,000円

単回の参加もOK！
参加費は資料冊子代金や教材費等、必要経費のみ
☆都合の悪い回はビデオ等で予備日設定します
場所:奈良SKIP教室

スタッフクラス

評価セミナー

会場　奈良県文化会館会議室2・3
11月7日㈮　18:15～20:15
8日㈯　9:00～16:30

講師 中山清司氏(自閉症eサービス代表)
松尾浩久氏(ディセンターHEROES所長)

子供向け・成人向け　参加募集　各10名

申込締切・11月5日

実践ケース検討会
3回コース

会場　三の丸会館
11月28日㈮,12月19日㈮,1月23日㈮
18:30～20:30

講師 大中りよ子氏
(大阪府障害者福祉事業団)

定員20名(要申し込み)

＊講師や会場の都合により、場合によっては時間・場所等が変更することがあります

平成26年度社会福祉法人　社会福祉事業研究開発基金助成　「発達障害児子育てスキルアップ事業」　主催　特定非営利活動法人　奈良県自閉症協会

ワークショップ申し込み

申し込みFAX　または　メール先（**可能な限りメールでお願いします**）

FAX:0744-33-4755（問い合わせの場合は留守電にメッセージを）

asj_nara_oomiya@yahoo.co.jp

メールでのお申し込みには件名「ワークショップ」とし下記の内容をお書き下さい。
携帯からもOKです。（QR コード対応機種であれば、右の QR コードからアドレスが読み取れます）

ふりがな			
名　前		保護者　・　支援者	
勤務先	勤務先		職　種
	所在地		
	電　話		FAX
自　宅	住　所		
	電　話		FAX
Ｅメール			
領収書	要　・　不要（いずれかに○）	領収書要の方はご希望の領収証名をご記入下さい→	

希望受講を選んで下さい

☆スタッフクラス　（保護者の方の参加もOKです）

	11月7日･8日　評価セミナー	ご希望を○で囲んで下さい（子供向け･成人向け）	8000円	定員 各10名
	11月28日	実践ケース検討会①	無料	20名
	12月19日	実践ケース検討会②	無料	20名
	1月23日	実践ケース検討会③	無料	20名

☆ペアレントクラス５回コース　定員12名（基礎講座参加者優先で　選考させていただきます）

	９月 25 日	9/25無理な方へ10月　2日（場所　奈良SKIP教室）	500円	まとめて 5000円 資料冊子 教材費
	11 月 13 日	ビデオ日　11月20日（場所　奈良SKIP教室）	1500円	
	12 月　４日	ビデオ日　12月11日（場所　奈良SKIP教室）	1500円	
	１月 15 日	ビデオ日　　1月22日（場所　奈良SKIP教室）	1500円	
	２月　５日	2/5無理な方へ　2月12日（場所　奈良SKIP教室）	500円	

＊単回参加もOK！　予備日、ビデオ日の日程･場所の追加は　複数人数集まれば　ご相談に応じます。

奈良県自閉症協会･会員　　会員　：　会員でない

該当するところにチェックと　記入をお願いします。

☆支援している人の（対象）年齢（　　）歳　☆支援を始めて（　　）年目

□　構造化支援をしている：（　　）年目　□　支援について　悩んでいる

□　奈良県自閉症協会講演会･セミナーに参加した事がある

□　奈良県自閉症協会活動ボランティア経験あり

□　参加動機をお書き下さい。

＊申し込みされた方には　振り込み先を　お知らせ致しますので　必要金額をお振込下さい。＊今回は助成金による開催の為、通常よりお安くなっております。

★特定非営利活動法人　奈良県自閉症協会
Autism Society of Nara Japan
ホームページ　http://www.eonet.ne.jp/~asn/
電子メール　kawafune@ares.eonet.ne.jp

奈良県における自閉症児･者の福祉向上を願って、本人、家族、医療、教育障害者福祉関係者、ボランティア、によって構成されている支援組織です。
1998年5月10日に、日本自閉症協会の全国で一番最後の支部として発足し
2008年8月22日特定非営利活動法人奈良県自閉症協会として再出発しました。

事務局：大和郡山市矢田山町84−10
河村舟二（かわむら しゅうじ）　TEL･FAX　0743-55-2763

自閉症理解と支援の為の勉強会・ワークショップ

やってみよう！　作ってみよう！への参加のお誘い

　今回の「発達障害児子育てスキルアップ事業」にて　５回連続講座で基本的な特性と支援理解を深めて頂いた後、実際に日々の生活や支援の場面にて実践して、生かして頂けるようにとワークショップや　実践セミナー、グループワーク形式の実践ケース検討会を計画しました。

同じ失敗を何度も繰り返す　～あー、またやった！」とつい言ってしまう ことが多い。

同じような問題が繰り返しおこる　～何故そのようなことが繰り返されるのか、

原因は身近なものも「わからない」、と口をそろえて言う。

こんなお悩みをお持ちの保護者、先生、支援者さん、

ちょっと頭の中の風通しを良くしてスッキリしてみませんか？

工夫とアイデアが、次々と湧き出し、目の付け所のコツがわかる！

是非　ワークショップに参加して　アイディアの泉を　覗いてみて下さい！

案内チラシにある専門用語「サポートブック」「自立課題」「評価セミナー」など

初めて目にする方おられませんか？聞いた事はあるけど　深い内容は？という方も？

ちょっとだけ　宣伝も兼ねて　ご紹介したいと思います。

「サポートブック」

　サポートブックは、障害の種別に関わらず、お子さんが初めて接する人（例えば、ボランティアや新しい担任の先生など）に、お子さんの特性や接し方について知ってもらうための情報を書いておくものです。

①名前や連絡先、障害特性など基礎となる情報を書いておく

②子どもの好きな遊び、かかわり方や苦手なものを書いておく

③食事やトイレ、着替えなど、その時に必要な情報を書いておく

④要求のしかた、拒否のしかたなど、コミュニケーションのとり方について書いておく

⑤不安や過敏、パニックへの対応などについて書いておく

サポートブックは、最初に作成したものを一生涯使うというものではありません。

お子さんの発達や成長に応じて、できるようになったところは書き換えていきましょう。

作ったものを残しておくことで、お子さんの成長の記録にもなります。

最初からオールマイティに活用できるサポートブックを作ることはとても力のいることです。

必要なときに、必要な量だけ、相手に伝えておきたいことを書いてみましょう。

実際に使ってみて、見てもらった人の意見を参考にバージョンアップさせていきましょう。

　書式見本

　http://auc-clover.a.la9.jp/pdf/supportbook.pdf

書式記入用紙

　http://auc-clover.a.la9.jp/word/supportbook.doc

ひょうご発達障害者支援センター　クローバー　ＨＰより

「自立課題作成とは」

自閉症の基本的な特性を学びながら、一人ひとりの子どもにあった自立課題を作成します。評価の仕方や視点やポイント、自立課題の選定の仕方、課題作成の工夫など、評価→計画→実施→再評価のプロセスを実習形式で学んでいきます。

自閉症スペクトラムの子どもについて、学べる機会となります。

写真はＳＫＩＰ教室での作成より

＊自立課題学習はなぜするのですか？

いろんな答え方ができます。

Ａ１．「ひとりでできる」ことをするためです。それによって「やったぜ」という達成感を持ったり、「私はできるんだ」という自尊感情がアップしたりします。

Ａ２．　簡単だからやるのです。設定された環境の中で「わかることをする」のは簡単です。設定され

ていない環境で臨機応変を求められるのは誰だって難しいことです。

　このA1.A2は別に自閉症の方に限りません。

Ａ３．　自閉症の方の場合は、様々な見えるもの「まず、どの作業をして、次にどの作業をして、その後休憩をして」とかがわかる手順書や、「次にしたらいい物が入っているカゴ」や、そのカゴの並べ方、作業が終わったらそのカゴごと入れる「おしまいボックス(終了ボックス･フィニッシュボックス)」を用意したりとか（使わない場合もあります)、そういう全体をワークシステムと呼んでいます。そして「こうしたらこの人はわかってひとりでできるんだ」が周囲の人に理解できれば、その工夫を外部に持ちだして、様々な活動に応用できます。そのとっかかりとして自立課題学習はたいへんやりやすく簡単なものなのです（指導者に理解できていれば、ですけど）

　また、それとは別に「見て、どうやったらいいかわかりやすい教材」「場合によっては作業そのものの手順がわかる手順書（これをジグと呼ぶ場合もある)」「場合によっては『これを使えばこうとしかできないお助け道具』（これをジグと呼ぶ場合もある)」なども使って、「見てわかりやすく」します。（たぶん、これをむつかしげな言葉でタスクオーガニゼーションと言うのだと思う）

A4.　自閉症の人の場合、「休憩」の意味がわからなかったり、空いた時間に何をしたらいいかわからなくて混乱したりする方がおられます。そういった場合、自立課題学習は格好の時間つぶしにもなり得ます。そして「達成感」「自尊感情」も得られる、というお得な活動です。

以　上

http://kingstone3.seesaa.net/article/222992665.html

ブログ　kingsone　page より　前半部分抜粋

「評価セミナー」

　自閉症スペクトラムの人達の支援において、的確な評価（アセスメント）が欠かせません。このセミナーでは、実際に自閉症スペクトラムの方にご協力いただき、自閉症ｅサービスオリジナルの評価キットを活用し、自閉症の特性に即した評価方法とその視点について学びます。
また、評価に基づいた個別支援計画作成へのプロセスについてもグループワーク形式で行います。

11月7日　（金）

・評価についての講義

・評価キットについての説明と具体的な実施方法の解説

11月8日（土）午前

・評価キット実施に向けた練習

・自閉症の方に実際に評価キットを実施する演習

11月8日（土）午後

・評価キットを実施しての振り返り

・アセスメント票の作成とポイントの説明

・個別支援計画への反映などの講義と振り返り

実際のモデルさんに実施する演習があり、実践的な研修会になっています。
実施するための準備から、実施方法の詳細、評価で得る情報のポイントと得た情報をどのように個別支援計画に反映するかという内容で翌日から活用できます。

「実践ケース検討会」

11月２８日

・問題行動へどのように取り組むかの講義

・講師による問題行動を抱えた人の事例紹介

・受講生が現在困っている事例提供者を２～3名決める（希望者多数の場合は調整）

12月19日

・受講生から事例提供

・事例をもとに、どのように取り組むかワークシートなどを使い検討

・講師、受講生同士でディスカッション

1月23日、

・2回目の事例提供者のケースの近況報告

・受講生から事例提供

・事例をもとに、どのように取り組むかワークシートなどを使い検討

・講師、受講生同士でディスカッション

＊具体的な実践アドバイスを得られる、ほかにない良い機会になっています

　事例提供も　募集中です。

　まだまだ　定員に余裕がある状態ですので

　締切を11月5日まで　延長しました。

　問い合わせ・申し込みは　asj_nara_oomiha@yahoo.co.jp

フラワーアレンジメント講習のお知らせ

11 月の療育部会はフラワーアレンジメント講習会を行います。
たまにはゆっくりと自分磨きとストレス解消にお花とふれ合ってみませんか。楽しくやさしく丁寧に教えていただきます。

日　時：平成 26 年 11 月 12 日（水）10：00 ～ 12：00
（受付 9：45 より）
場　所：奈良県心身障害者福祉センター２階会議室
（磯城郡田原本町宮森 34-4　　TEL0744-33-3393）
○指　導：伊藤友子さん　○参加費：協会員無料，会員外 500 円　○持ち物：はさみ　持ち帰り用袋
申込先：準備物の都合上、事前の申し込みを療育部横野までメールでお願いします。
tomo87-michi@docomo.ne.jp　　申し込み締め切りは　１１月７日といたします

成人部

見学＆ランチ会のお知らせ

11 月 19 日水曜日　Machiya　Works　こいんどう　にて
見学とランチ会を行います。成人部会員さんの吉澤さんが運営されている　事業所です。当日は利用者さんの作業の様子を見せて頂いてカフェでランチを　頂く予定です。住所は　奈良市小西町 12 番1　近鉄奈良駅徒歩 2 分　つだ美容院　斜め向かいです。現地集合 11 時 10 分　駐車場はありませんので自家用車でお越しのの方は各自民間駐車場などご利用ください。しばらく顔を合わせていない会員さん　是非ご参加ください。近況などお聞かせ下さい。
参加希望の方は
090 － 7969 － 0428
メ ー ル　ken-tan.m4@ezweb.ne.jp
田中まで連絡お願いします。締め切りは 11 月 10 日　10 名までとさせていただきます。

我が家の運動会

地域の小学校に通う５年生です。歌は大好きですが踊りにはあまり興味がなく、それでも３年生からはお友だちをお手本にかなり踊れるようになりました。４年生では太鼓を持って踊るというハードルの高いことにも挑戦し、ワンテンポ遅れながらも見事に最後まで踊りきりました。ここまで出来るなんて…と子どもの違った面を見たようで新しい発見をしたかのようにうれしくとても感激した運動会でした。。
さて、今年は組み立て体操です。
みんなと一緒に、合わせて…と、子どもの苦手な協同作業が必要です。それに興味が持てるか心配でした。まじめにやらないと危険も伴うため練習もビリビリした雰囲気の中で行われます。初めは途中で打ち合わせが入ったり変更があったりと、待ち時間が長いことが多く、じっと待っていられず走り回ったり教室に帰りたがることも度々ありました。
流れがわかってくると落ち着いて出来るようになりました。
うちの子どもは小柄で軽いため、ほとんどの競技で上に乗せてもらっていました。高い所も好きなため、とてもいい顔でポーズをとっていました（どや顔！）「アナと雪の女王」と「ファンキーモンキーベイビーズ」の歌に合わせて全ての組み立て競技に参加できました。これも先生の指導とお友だちの協力があったからです。それと子ども自身に模倣する力がついてきたんだなぁと思いました。子どもの頑張りと成長を思うと１つ１つ競技が終わる毎に涙腺がゆるみました。今年も感動をもらった運動会になりました。何より子どもが楽しく参加出来たことが一番うれしかったです。　　療育部　I

初めての運動会

養護学校へ入学して初めての運動会が先日行われました。息子の学校の校庭は芝生で、当日の天気は晴れ。絶好の運動会日和でした。
養護学校が小学部 1 年生から高等部 3 年生まで全員一緒に行います。通常通りの登下校なのでスクールバスの発着時間に合わせての開催時間となり、地域の学校より短い時間です。その中で全学年の種目がとてもスムーズに行われ、準備や段取りの仕組みにひたすら感心していました。
息子は中学部 1 年生。出場種目は主に徒競走と表現ダンス。それと全体で行う体操。
養護学校と地域校の一番の違いは、練習のタイミングです。
地域校はやはり行事も多いので 2 学期に入ってからの練習でした。

しかし、養護学校は様々な状態のお子さんがいることもあり、また、いきなりの取り組みが苦手な子どもも多いこともあってか、１学期から少しずつダンスを覚え、徒競走へ向けての指導が行われていました。

その甲斐あって、やはりわが子はもちろん、本番をとてもスムーズにこなせているお子さんが多かったことが感動しました。

特に自閉症は非日常が苦手です。運動会は子どもや先生方だけでなく、見に来る保護者やお客さんにとっても「特別な日」なのです。その特別な日でありながら「特別ではなく日常」に子どものモチベーションを持っていく、その指導にやはり養護学校ならではのスキルを感じました。

さて、肝心のわが息子・・・。家族以外にも小学校時代の先生や地域でお世話になっている方も入れ替わり立ち代わり見に来て下さいましたなか、なんと！生まれて初めて徒競走で１等となりゴールテープを切りました！いいところをお見せできました。

この「競争」。これも初めて経験することがたくさんあったのでした。

これまでリレーや競争は「悠ちゃん仕様」になっていたため、競ったことがなく、「追い抜かす」ということが分からなかったようでした。練習時に相手を押したり叩いたりしたのを見た先生が追い抜かす方法を教えてくださりました。

そして、テープですが、これまた触ったこともない。もしかしたら存在すら怪しい。

なので、テープの前で立ち止まったり、くぐったりしていたのを、そのまま走り抜けるということを教わりました。何度も練習した成果があって、本番は自分の力を存分に！？発揮したようです。

こうやって子どもを分析的にみると、まだまだ経験していないことが多いのも分かりましたし、時間はかかっても着実にものにできる力を持っているなと知りました。なにより、そのポイントポイントをうまくご指導してくださっていることに感謝の１日となりました。

療育部Ｓ

９月２０日中学校の体育大会無事に終わりました。

子どもは、地域の中学校の支援級に所属している中二の娘です。
小学校との違いですが、練習時間が短いですね。二学期が始まってから二週間ほどで、仕上げていきます。小学校ではなかった、応援合戦は、三年生がパフォーマンスを考えて、指導してくれます。また学年種目も自分達で考え、学年対抗大縄跳び、ソーラン節、盆踊りと盛りだくさんです。当日の係りの仕事は、すべて、生徒と先生だけでしてくれるので、生徒さんの自身が判断し行動していきます。全校生徒４６名の生徒は小人数なので、応援席にいることなく、みんなそれぞれの役割をこなしていました。

さて、昨年の話ですが、初めての応援合戦でのこと、本番しか着替えないので、制服の膝スカートを短くするのが変に上げたので、気持ち悪かったらしく、踊りが変になってしまいました。当日まで、どんな格好をするのか知らず、シュミレーションしとけばよかったです。応援合戦が終わった後、ソーラン節を踊るのに、黒いＴシャツに着替えます。外のテントの中で、周りに見えないように、周りの生徒が、自分のＴシャツを顔の上まであげて、真ん中の生徒を隠して着替えをするのが、恒例になっていたらしく、それを、知らなかった娘はみんなの顔が赤のＴシャツで隠れて囲まれたので、びっくりして、下着のまま逃げそうになったので、先輩の生徒さんが大慌てになったらしいと後で先輩のお母さんに聞きました。後日、先生に話すと、生徒さんが毎年自分たちで勝手にしていたので、知らなかったと、おっしゃられたので、中学というのは、生徒さん自身がすることが多いで、先生が見ていないことがたくさんあるのが普通だと知りました。支援級に所属しているのだから、小学校と同じで、傍にいてくれていると思い込んでいたのが、中学ではそうではなかった。お願いしないとしてもらえないのだと実感した一年目でした。

さて、今年の体育大会では、先生に相談して見守りをお願いし、昨年は係り仕事はなかったので、何かできる係をと、準備係をさせてもらいました。
200メートル競争に初めて出ることになり、初めてのことは、自身がないので、「いっぱい走るの疲れるよ～」と家では、不安そうにしていましたが、練習で一度走ると、一番になったので、自信がついて、「大丈夫だったよ！」と不安解消。
盆踊りの練習は、「去年したのにな

んでまたするの？」と先生に言ってきたので、先生が「一年生のみんなに教えてあげてね」と、ナイスな声かけをしてもらたおかげで、練習もモチベーションが上がり、練習に参加できました。
当日は、心配していた 200 メートル競争は、スタートから全速力で走って、見事一等になりました。係りの仕事も、ついてくれた先生の指示に従って、同級生とともに迷うことなくすることができ、達成感がもてたようです。することがあって苦手なピストルの音が少し気にならなくなっていたようにも思います。帰ってきた時に「頑張ったよ！」と笑顔を見せてくてたことが、とてもうれしかった二年目の体育大会でした。

療育部　M

我が家の年賀状

我が家の息子は、今年から西和養護学校の中学部に通っております祭原良介と申します。保育園の頃から絵を描くことが大好きで、（特に機関車）思春期に入る頃までは、毎日のように絵を描く男の子でした。今でも、週に１度は、西大寺にある YMCA の絵画教室ミネルバに楽しんで通っています。
最近では、絵を描く以外の遊びの方に興味が出てきて、家で絵を描く事は、めっきり減りました。小さい頃は手描きでしたが、小学２～３年生の頃からパソコンを使うことを徐々に覚え、現在、家では、パソコンを使って描く方が楽しいようです。気分がのる（笑）と集中して、何枚かまとめて描く事もあるので、思い出の記念になるように書き溜めています（笑）
障害を持っていても毎日元気にがんばっている様子を、親戚や知人の方々に知っていただきたくて、小学２年生の頃から良介の書きためた絵を年賀状にして送っています。
障害を持っている子供を育てていて大変なこともたくさんありますが、少しのことでも何か楽しめる事を見つけて、これからも前向きに生活していけたらなと思っています。
（注）良介が描くのは絵の部分だけで、文面は絵に合うように親が記入しています。

療育部　S

レジャー情報

去る 10 月 5 日（日）　本誌でもお知らせ致しました大東市総合文化センター「サーティーホール」にて（公政）日本太鼓財団主催による「第 16 回日本太鼓全国障害者大会～心に響け「ドンドン」フェスティバル～」が開催されました。全国から選りすぐりの 34 団体が、日ごろの練習の成果を披露しました。赤、黒、紫など様々な色を基調としたそろいの法被に鉢巻き、背中にはチームのロゴや紋がプリントされた凛々しい姿の出演者。各チームの持ち時間はスピーチを合わせて約 7 分間。「ソーレ！！」の掛け声も勇ましく「ドン、ドドンドドン、ドン、ドドンドドン」と体で感じる太鼓の音。各チーム力一杯の演奏はまさに胸に響くものでした。
今回出場された「山城ノ国和太鼓鼓粋（やましろのくに わだいこ こいき」の自閉症の息子さんを持つ保護者の方に、お話を伺いました。
Q「今回の大会での感想とその時のお子さんの様子はいかがでしたか？」
A「初めての大きな大会で緊張はありましたが、無事に終えられた事が何よりでした。当日まで怪我や病気も無く、本領発揮してくれたと思います。そして今回、改めて皆さんに支えられて大会が動いている事を感じました。本人の様子ですが、初めて行く会場でしたので不安はありましたが、大会中は必ず誰かしらが本人の隣におりましたし、混乱無く行けました。パニックは無いのですが、本人の習性的なモノが気になりました。興奮と制約の中での大会に、やり終えた時の脱力感は半端無かったです。最後は制約のストレスで気が抜けていました」。
Q「大会までどういう練習を重ねてこられましたか？その上でお母さんの苦労やエピソードをお聞かせ下さい。」
A「以前は曲を覚えるまで、本人の中では葛藤でした。みんなと同じく打ちたい！けど曲に付いて行けない、打てない…とあって、歯痒いジレンマみたいなモノを感じていたらしく、出来ないと家の壁やドアを破壊していました。曲を覚えるまで、とにかく「見て聞く＋模倣＋イメージトレーニングの繰り返しで、イメージトレーニングしながら手打ち（手で足や机や床や椅子等を叩いて曲を覚える練習方法）をして曲を体に覚えさせていました。時には食事中に箸をバチ代わりに茶碗を叩いて注意した事もありました。その甲斐があってなのか、2 年程掛けて曲が体に染み込む位になり、覚えられた時には先生やメンバー、保護者の

皆さんから誉めて頂いた事が嬉しくて、それからは難しく速い曲でも果敢に自ら挑んで取り組むようになりました。今は体が曲を覚えているのでひたすら回数をこなす事です。私の苦労は曲を覚える事に関しては、実は何もしていないです。自ら獲得した技なのです。基本、先生からは本人に対して「好きにさせろ。好きにやったらええ」と言われました。私は他の事ではやかましく言いました。（太鼓の扱いや構え方、バチの持ち方や上げ方、強弱の付け方、あと公共の場での行動）。とにかく皆さんにご迷惑を掛けまいと、やかましく言っていたので、逆に私が先生から怒られる程でした。私としては回数をこなす事の協力しか出来なかったので、休みの時に遊びがてら平城宮跡に行き太鼓をたたく、又は太鼓の DVD をみたりしていました。」

Q「今療育の上で　とても注目の太鼓なのですが、これから太鼓をさせたいと考えている方へのアドバイスをお願いします。」

A「本人が興味を示したら、させてみて良いと思います。ウチの場合は友達に誘われ見学したの　きっかけでした。太鼓をすると元気になります。曲を覚えると更にやりたくなります。大きな音が苦手なら最初は見学を何回かして馴らして行くと良いです。「療育に良い」と言うよりも、本人に興味があるのかが重要です。本人に合うようなら楽しめると思います。本人が嫌がっている様ならしない方がいいです。私は子どもに生涯をかけて何か自信となる「コレ！」と言うモノを持ってほしくて、太鼓を続けているのもあります。色々な可能性の中で、太鼓に出会い、子どもが興味を持って取り組んでくれている事がうれしいです。学校の授業で将来の夢を聞かれ「太鼓がしたい！」と言ったそうで、いかにその夢に向けてサポートしてあげられるかが、これからの私の課題です。模索しながらではありますが。「太鼓、そして受け入れてくださった先生、チームのみんなと出会えて良かった！続けていて良かった！」…と日々思い感じています。興味があれば何でも「きっかけ」だと思うので、お子さんの様子をみながら進めて行ってください。」

A「ありがとうございました！これからもがんばってください。」

太鼓との出会い。そして支えてくれる先生や仲間との出会い。太鼓をたたきたいという思いから繰り返した練習と葛藤の末の曲の習得。この大会に出場された事で、さらに大きな自信と経験を積まれた事と思います。これから太鼓と共に歩まれる中での成長が楽しみですね。みなさんも彼のように「生涯をかけて何か自信となるコレ！」を見つけてみませんか？　　療育部　M

大阪市立科学館に行ってきました。大きなプラネタリウムがあり、そこでは、他ではない幼児から小学生向けにおしゃべりしてもOK, な、ファミリータイムがあって、アニメで説明もあり、小さなお子さん連れの方や、障害の持った方もたくさんこられていました。プラネタリウムは、暗いと怖いとか、静かにできないからと、諦めていた方には、一度気軽にチャレンジしてみてはどうでしょか？

それに、サイエンスショーや、宇宙、科学、化学、電気のことなど、遊びながら学べるところもあり、親子とも楽しめるようになっています。

療育手帳があれば、本人と介助人一人が無料になっていますので、お勧めですよ！

プラネタリウムは時間制になっておりますので、ホームページで確かめてからお越しください。

大阪市立科学館　06-6444-5656

http://www.sci-museum.jp/

県内イベント情報

☆奈良フードフェスティバル　Ｃ‘ｆｅｓｔａ（シェフェスタ）ｉｎ奈良

１０／２５～１１／３　　１０：００～１７：００

奈良公園登大路園地

奈良県の食材と、シェフとの交流が楽しめる「C’festa（シェフェスタ）in 奈良」が、奈良公園登大路園地で開催されます。期間中は毎日、カフェやシェフズキッチン（日替りシェフのイベント限定料理）の出店、青空ピッツァ、シェフェスタ・バルなどが行われます。青空ピッツァでは、県内の人気ピッツェリアや奈良出身の世界チャンピオンのピッツァが登場します。土日祝には、野菜やパン、クラフトなどが並ぶウィークエンド・マルシェや、シェフェスタ屋台村（3 連休の土日祝限定）、「食」のワークショップが催されます。会場では大型キッチンカーが登場するほか、くるみの木・石村由起子プロデュースのマルシェ、奈良の清酒飲み比べもあります。　http://nara-foodfestival.jp/

☆たかとり城（しろ）まつり

11／23　10：00～16：00　※雨天決行

奈良県高取町　児童公園（メイン会場）、城下町筋（奈良県高取町）

時代行列をはじめ、火縄銃や居合、殺陣（たて）の実演、フリーマーケットなどが行われます。かごかき競争や自作駕籠による駕籠コンテストも催されます。

http://sightseeing.takatori.info/

☆靴下の市＆地域特産品交流フェア

１１／２９,３０　　９：００～１５：３０

奈良県広陵町　竹取公園みんなの広場にて（広陵町大字三吉 391-1）

靴下工場により市価の 70 ～ 30％引で靴下を直販する「靴下の市」が、毎年 4 月と 11 月に開催されます。スケールが大変大きく、奈良県内だけでなく周辺府県からも多くの人が訪れ賑わいます。県内外の地域特産品を集めた「地域特産品交流フェア」も同時開催されます。

http://www.koryonet.or.jp/hanbai/newpage37.htm

☆平城京天平祭　秋　２０１４

１１/１～１１／９　１０：００～１６：００

平城京跡にて

「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録されている平城宮跡が、色鮮やかな秋の花で彩られます。万葉けまり、衛士隊（えじたい）など古代行事の再現、大極殿特設ステージでのコンサート、奈良ならではのうまいものや、ものづくり体験が楽しめる「食とものづくりの天平マルシェ」などの催しが盛りだくさんです。往時の奈良の都に思いを馳せながら、秋の平城宮跡を満喫できます。　http://www.tenpyosai.jp/

☆天理市光の祭典２０１４

１１／８～２０１５.１／７　点灯時間 /17:00 ～ 22:00

ＪＲ近鉄天理駅前

天理駅前に約 22 万個の光の装飾が施される、奈良県下最大級のイルミネーション「天理市光の祭典」が開催されます。

http://www.tenshoko.com

☆新嘗祭（にいなめさい）・農林産物品評会

１１／２３　１０：００～

桜井市　大神神社（奈良県桜井市三輪）

春には五穀豊穣をお祈りし、秋には稔りに感謝する「新嘗祭」が大神神社で執り行われます。宮司の祝詞奏上に続き、4 人の巫女により神楽「磯城の舞（しきのまい）」が特別に奉奏されます。「農林産物品評会」も催され、13 時からは即売が行われます。　http://www.oomiwa.or.jp/

☆生駒聖天厄除大根炊き（しょうてんやくよけだいこんだき）

１２／１　０：００頃～１４：３０頃（大根がなくなるまで）

宝山寺（近鉄生駒駅からケーブル宝山寺駅下車）一般に大根は心身の毒を取り除くといわれるように、聖天さまお下がりの大根を召し上がって戴き、一年の毒を除き、新しい年を迎えていただく行事。

宝山寺　0743-73-2006

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

NPO 法人えじそんくらぶ　主催
えじそんくらぶ奈良『ポップコーン』・京都 ADHD 親の会 クローバー　共催

発達障害のある子どもへの合理的配慮による支援とは？

小学校から大学までの ICT（情報通信技術）の利活用を通じて

平成 26 年 10 月 26 日（日）

13 時 30 分～16 時 00 分 （受付開始 13時 15 分）

講師　巖淵 守先生
（東京大学先端科学技術研究センター　准教授）

近藤 武夫先生……ビデオでのご出演になります
（東京大学先端科学技術研究センター　准教授）

スマートフォンやタブレット端末といった携帯情報端末や、PC や身近にある機器等、これらは使い方次第で、特別支援教育の必要な子どもの達にとって、彼らの苦手を補う「魔法の道具」になるのかもしれません。学校・職場・ご家庭で、こうした機器を活用することで「楽にできること」が増やせるのならば、生活の質は大いに改善することが期待されます。

今回の講演会では、身近にあるこれらの機器等を、どのように学習支援の現場で活用できるか等について、東京大学先端科学技術研究センターの巖淵守先生（DO-IT Japan 事務局長。Touch&Read という発達障害のある児童生徒向けのデジタル教科書アプリの開発もされています。）と、近藤武夫先生にお話を伺います。

この講演会にお越しいただき、お子様、生徒さん、またはご自身の ICT 利活用した『学び方』の可能性を考えていただければ幸いです。みなさまのご来場をお待ちしております。

講演会の流れ　13:30～14:30　近藤武夫先生の**ビデオ講演**
「機器を活用した教育支援の実際」「教育現場や家庭で実践できる ICT の活用法」について

14:45～15:45　**巖淵守先生のご講演**
「テクノロジーの利用」や「デモの説明」に関してのご講演

15:45～16:00　**質疑応答**

【会　場】 奈良県中小企業会館　４階　大会議室　　**【交　通】** 近鉄「奈良」駅より徒歩３分
【定　員】 200 名（要予約：詳細は下記参照）　　**【託　児】** なし
【参加費（テキスト代含む）】 会員 無料・一般 1000 円（当日、会場にてお支払いください）
【対　象】 保護者、支援者（教員・福祉施設職員、各種専門家等、支援者全般）
【申込方法】 えじそんくらぶ HP の専用フォームから受付中。

※会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用下さい。
（周辺に若干有料駐車場はあります）
会場案内については各会へお問い合わせください。
〈奈良ポップコーン〉 aya1123@kcn.ne.jp
〈京都クローバー〉 kyoto-clover@zeus.eonet.ne.jp

問い合わせ先：NPO法人えじそんくらぶ事務局　　電話受付時間
〒358-0003　埼玉県入間市豊岡1-1-1-924　　TEL/FAX　04-2962-8683（平日11:00～16：00）
E-mail　info@e-club.jp　　URL http://www.e-club.jp　および　http://www.facebook.com/edisonclub

きずな原稿募集

11 月の記事のテーマは、「初詣」です。初詣行かれているでしょうか？　行くならお勧めはどこでしょうか？
また、初詣のエピソードなどありましたら、是非、松本までお寄せください。よろしくお願いします。
療育部松本　携帯アドレス：mama-emily0330@docomo.ne.jp
PC アドレス：ma32xs28ml@kcn.jp

発行人：関西障害者定期刊行物協会
住　所：〒５４３－００１５
大阪市天王寺区真田山２－２　東興ビル４F
編集人：河村　舟二
定　価：１００円

一九九六年五月一日発行第三種郵便物承認　毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行